SEED-Noid における双腕作業のための RTC 群

名城大学メカトロニクス工学科 ロボットシステムデザイン研究室 2018 年 12 月 12 日

目次

1.	はじ	めに		4
	1.1.	コン	⁄ ポーネントの概要	4
	1.2.	関連	主文書	4
	1.3.	開発	環境	4
2.	RTC	こ仕村	羕	5
	2.1.	See	dUpperBody	5
	2.2.	Dua	ılArmController	6
	2.3.	Dua	ılArmSimulation	7
	2.4.	SEE	D-Noid_Bridge_command_r/ SEED-Noid_Bridge_command_l	8
	2.5.	SEE	D-Noid_Bridge_state_r/ SEED-Noid_Bridge_state_1	9
3.	実機	制御	『方法	10
	3.1.	動作	確認環境	10
	3.2.	環境	6構築	10
	3.2.	1.	Boost ライブラリのインストール	10
	3.2.2	2.	SEED-Noid_Dual-Arm_pkg のダウンロード	10
	3.2.3	3.	SEED-Noid_Dual-Arm_pkg のビルド	10
	3.3.	操作	『方法	11
	3.3.	1.	RTC 群の起動およびアクティベート	11
	3.3.2	2.	DualArmController の操作	11
4.	シミ	ュレ	〜ーション制御方法	11
	4.1.	動作	確認環境	11
	4.2.	環境	6構築	11
	4.2.	1.	ROS の環境構築	11
	4.2.2	2.	aero-ros-pkg のダウンロード	12
	4.2.3	3.	eSEAT のインストール	12
	4.2.	4.	SEED-Noid_Dual-Arm_pkg のダウンロード	
	4.2.	5.	SEED-Noid_Dual-Arm_pkg のビルド	12
	4.3.	操作	三方法	
	4.3.	1.	RTC 群の起動及びアクティベート	12
	4.3.2	2.	DualArmController の操作	
	4.3.3		Gazebo 実行画面エラー! ブックマークが定義されていませ	
5.	Dua		nController について	
	5.1.	Dua	llArmController 実行画面	13
	5.2.	Dua	ılArmController が有する機能	14

5.3.	座標系	
0.0.	工体//	

1. はじめに

1.1. コンポーネントの概要

本 RTC 群は、THK(株)が開発した双腕ロボット SEED-Noid における双腕作業のための RTC 群であり、サンプルコントローラから、実機およびシミュレーション上の SEED-Noid を動かすことが可能である.

1.2. 関連文書

関連する文書を以下に示す.

No,	文書名			
1	ロボットアーム制御機能共通インタフェース仕様書(第1.0 版)			
	https://www.sec.co.jp/robot/_downloads/interface_arm_1.0.pdf			
2	双腕ロボット制御機能共通インタフェース仕様書(第1.0 版)			
	https://www.sec.co.jp/robot/_downloads/interface_doublearm_1.0.pdf			
3	双腕ロボット制御機能共通インタフェース 2.0 仕様書			

1.3. 開発環境

開発環境を以下に示す.

OS	Ubuntu16.04
RTM	OpenRTM-aist-1.1.2-RELEASE
ROS	ROS kinetic
Gazebo	Gazebo7
eSEAT	eSEAT2.5

2. RTC 仕様

2.1. SeedUpperBody

SeedUpperBody は実機 SEED-Noid の双腕制御用コンポーネントである.

RTC の名称						
SeedU	operBody			-	orCommonInterface_Common orCommonInterface_Middle	
	サー	ービスポート((コンシューマ)			
名称		インタン	フェース型		説明	
DualManipulatorCom	nmonInt	DualManipulatorCommonInt		双胜	双腕共通コマンドインタ	
erface_Common		erface_Common		フュ	ェース	
DualManipulatorCom	nmonInt	DualManipulatorCommonInt 双		双脑	宛モーションコマンド	
erface_Middle		erface_Middle イン		ノターフェース		
	コ	ソフィグレーシ	ョンパラメータ			
名称 デ		ータ型	デフォルト値		説明	
port_name	string		/dev/serial/by-		シリアル通信ポート	
			id/usb-		の指定	
			FTDI_TTL232R-			
			3V3_FT98HKZC			
			if00-port0			

2.2. DualArmController

DualArmController は双腕共通 I/F を用いたサンプルコントローラである.

Edularing Control (CANA) (CANA					
RTC の名称					
DualArmController		DualManipulatorCommonInterface_Common DualManipulatorCommonInterface_Middle DualArmController0			
サービスポート(プロバイダ)					
名称	インタフェース型		説明		
DualManipulatorCommonInte	DualManipulatorCommonInt		双腕共通コマンドイン		
rface_Common	erface_Common		タフェース		
DualManipulatorCommonInte	DualManipulatorCommonInt		双腕モーションコマン		
rface_Middle	erface_Middle		ドインターフェース		

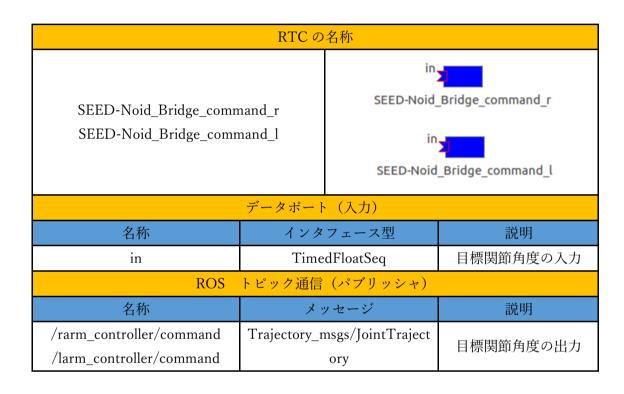
2.3. DualArmSimulation

DualArmSimulation はシミュレーション上の SEED-Noid の双腕を制御するためのメインのコンポーネントである.

RTC の名称					
DualArmSimulation	L_JointAngle_in				
サー	サービスポート (プロバイダ)				
名称	インタフェース型	説明			
DualManipulatorCommonInte	DualManipulatorCommonInt	双腕共通コマンドイン			
rface_Common	erface_Common	タフェース			
DualManipulatorCommonInte	DualManipulatorCommonInt	双腕モーションコマン			
rface_Middle	erface_Middle	ドインターフェース			
データポート(入力)					
名称	データ型	説明			
" Joint Angle in	TimedFloatSeq	右腕関節角度の現在値			
r_JointAngle_in	Timedrioatseq	入力			
1 JointAngle in	TimedFloatSeq	左腕関節角度の現在値			
l_JointAngle_in	Timedrioatseq	入力			
	データポート(出力)				
名称	データ型	説明			
r Joint Angle out	TimedFloatSeq	右腕目標関節角度の出			
r_JointAngle_out	1 infeur toatseq	力			
l_JointAngle_out	TimedFloatSeq	左腕目標関節角度の出			
1_Jointangle_out	i illieur ioatoeq	力			

2.4. SEED-Noid_Bridge_command_r/ SEED-Noid_Bridge_command_l

SEED-Noid_Bridge_command_r および SEED-Noid_Bridge_command_l は、ROS と連携した Gazebo 上のモデルを動かすために、ROS 側に目標関節角度を送信するための ROS と RTM のブリッジである。なお、この RTC は SEATML ファイルで記述されており、eSEAT を用いて動作するようになっている。



2.5. SEED-Noid_Bridge_state_r/ SEED-Noid_Bridge_state_l

SEED-Noid_Bridge_state_r および SEED-Noid_Bridge_state_l は, ROS と連携した Gazebo 上のモデルの関節角度現在値を, RTM 側に送信するための ROS と RTM のブリッジである. なお, この RTC は SEATML ファイルで記述されており, eSEAT を用いて動作 するようになっている.

RTC の名称					
SEED-Noid_Bridge_sta SEED-Noid_Bridge_sta	_	out SEED-Noid_Bridge_state_r out out SEED-Noid_Bridge_state_l			
データポート(出力)					
名称	インタ	フェース型	説明		
out	Time	edFloatSeq 関節角度現在値の出力			
ROS トピック通信(サブスクライバ)					
名称	メッセージ		説明		
/rarm_controller/state /larm_controller/state		s/JointTrajectory rollerState	関節角度現在値の入力		

3. 実機制御方法

3.1. 動作確認環境

本RTC 群の動作確認環境を以下に示す.

OS	Ubuntu16.04
RTM	OpenRTM-aist-1.1.2-RELEASE

3.2. 環境構築

OpenRTM-aist および rtshell はインストールされているものとする.

3.2.1. Boost ライブラリのインストール

本 RTC 群には、Boost ライブラリを使用しているためインストールする.

\$ sudo apt-get install libboost-all-dev

3.2.2. SEED-Noid Dual-Arm pkg のダウンロード

Github から SEED-Noid_Dual-Arm_pkg をダウンロードする.

\$ mkdir ~/workspace

\$ cd ~/workspace

\$ git clone https://github.com/Mayuka-Shii/SEED-Noid_Dual-Arm_pkg

3.2.3. SEED-Noid Dual-Arm pkg のビルド

RTC 群をビルドするためのシェルスクリプトを実行します.

\$ cd /workspace/ SEED-Noid_Dual-Arm_pkg/script/

\$ sh CompBuild.sh

3.3. 操作方法

3.3.1. RTC 群の起動およびアクティベート

実機 SEED-Noid を動かす準備は整っているものとする. RTC 群を起動およびアクティベートをするためのシェルスクリプトを実行する.

\$ cd /workspace/ SEED-Noid Dual-Arm pkg/script/

\$ sh Exe Connect.sh

\$sh Act.sh

3.3.2. DualArmController の操作

DualArmController で, 実機の SEED-Noid を制御することができる. DualArmController の詳細については第5項参照.

4. シミュレーション制御方法

4.1. 動作確認環境

本RTC 群の動作確認環境を以下に示す.

OS	Ubuntu16.04
RTM	OpenRTM-aist-1.1.2-RELEASE
ROS	ROS kinetic
Gazebo	Gazebo7
eSEAT	eSEAT2.5

4.2. 環境構築

OpenRTM-aist および rtshell はインストールされているものとする.

4.2.1. ROS の環境構築

以下の URL に従って、ROS の環境構築を行う.

URL: http://www2.meijo-u.ac.jp/~kohara/cms/technicalreport/ubuntu16-04_ros_install

4.2.2. aero-ros-pkg のダウンロード

aero-ros-pkg は、SEED-Noid を ROS で制御するための ROS パッケージである. 以下の リポジトリの URL にはドキュメントが用意されているため、ドキュメントに従ってインストールを行う.

URL: https://github.com/seed-solutions/aero-ros-pkg

4.2.3. eSEAT のインストール

ROS と RTM のブリッジを動作させるために eSEAT をインストールする. 以下の URL に従って eSEAT のインストールを行う.

URL: <a href="http://hara.jpn.com/_default/ja/Software/eSEAT%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81%E3%81%A8%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%B
C%E3%83%AB.html

4.2.4. SEED-Noid Dual-Arm pkg のダウンロード

Github から SEED-Noid Dual-Arm pkg をダウンロードする.

\$ mkdir ~/workspace

\$ git clone https://github.com/Mayuka-Shii/SEED-Noid Dual-Arm pkg

4.2.5. SEED-Noid Dual-Arm pkg のビルド

RTC 群をビルドするためのシェルスクリプトを実行します.

\$ cd /workspace/ SEED-Noid_Dual-Arm_pkg/script/

\$ sh CompBuild sim.sh

4.3. 操作方法

4.3.1. RTC 群の起動及びアクティベート

RTC 群を起動およびアクティベートをするためのシェルスクリプトを実行する.

\$ cd /workspace/ SEED-Noid_Dual-Arm_pkg/script/

\$ sh Exe Connect sim.sh

\$sh Act sim.sh

4.3.2. ROS 側で launch ファイルの起動

\$roslaunch aero_gazebo aero_gazebo.launch

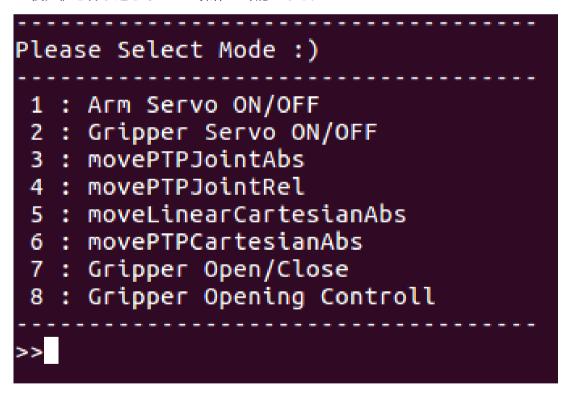
4.3.3. DualArmController の操作

DualArmController で、シミュレーション上の SEED-Noid を制御することができる. DualArmController の詳細については第5項参照.

5. DualArmController について

5.1. DualArmController 実行画面

DualArmControllerComp の実行ターミナルは以下のような画面になる。モード選択を行った後、値を打ち込むなどして操作が可能である。



5.2. DualArmController が有する機能

DualArmController は以下のような機能を有している. 尚,シミュレーション環境で使える機能は、ハイライトした項目のみである.

表示名	機能
1 : Arm Servo ON/OFF	アームのみサーボ ON/OFF
2 : Gripper Servo ON/OFF	グリッパのみサーボ ON/OFF
3 : movePTPJointAbs	絶対関節座標で指定された目標位置に対 し,関節空間における直線補間で動作する.
4 : movePTPJointRel	相対関節座標で指定された目標位置に対し、関節空間における直線補間で動作する.
5 : moveLinearCartesianAbs	ロボット座標系の絶対値で指定された目標 位置に対し、直交空間における直線補間で 動作する.
6: movePTPCartesianAbs	ロボット座標系の絶対値で指定された目標 位置に対し、関節空間における直線補間で 動作する.
7 : Gripper Open/Close	グリッパの開閉
8 : Gripper Opening Controll	グリッパ開度[%]の指定

5.3. 座標系

右腕の制御のための座標系を図 2、左腕の制御のための座標系を図 3 に示す.

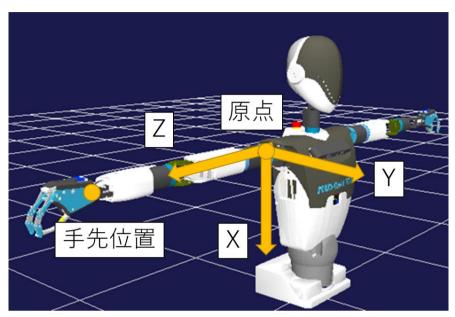


図 1 右腕の座標系

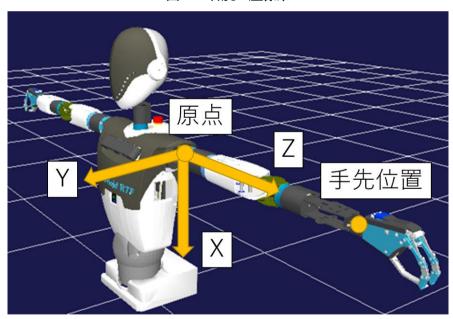


図 2 左腕の座標系